



篠木小

学校教育目標

あかるく、思いやりのある子ども
かしこく、進んで学習する子ども
たくましく、根気強い子ども

2学期がスタートしました！

夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。21日（木）の始業式の日、持ち帰ったたくさんの道具に夏休みの作品と、持ち物がいっぱい！校門であいさつをしていた私に「重いよ～、持ってみて」との声。実際持ってみるとなかなかの重さでした。それでも笑顔であいさつをしてくれた子供たちでした。

その後の始業式では、整列時もととても静かに待つことができていましたし、話をしっかりと聞くことができていました。式では、2学期は運動会、学習発表会、音楽会など、皆で協力して作り上げる行事がたくさんあり、行事や普段の学習で目標を達成するために大切なことを、今年のテーマ「そうそう」に合わせて話しました。まず、一つ目の「想像」は、いつも話している相手の気持ちを想像することです。そして、二つ目の「創造」は、新しいものを生み出すことです。2学期も、この「想像」と「創造」の2つの力を使い、どんなことにもチャレンジしていきましょと、私から呼びかけました。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期も学校運営へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

篠木っ子の活躍

～ がんばりに拍手！ ～

☆第12回 岩手日報小学校書展

〈入選〉2年 山本 恭太 4年 土川 楓子 6年 細谷 旬
〈佳作〉4年 相馬 美月 5年 下佐 碧 6年 相馬 雪乃



☆2025IBA-CUP 東北少年軟式野球大会

〈優勝〉滝沢ドリームライオンズスポーツ少年団

ライオンズには、1年生から6年生までたくさんの子供たちが所属しています。今回は4年生以上の大会とのことでした。

6年 高橋 陽人 武田 太陽 田村 敢太郎 須藤 碧惟

5年 竹鼻 夢輝 高橋 悠翔

4年 佐藤 優槻 梅原 奏 武田 光汰

「活躍」の中にいれましょう！

1学期にJRC委員会の呼びかけで取り組んだ1円玉募金。青少年赤十字岩手県指導者協議会からお礼が届きました。募金額は 1,667円 でした。協力してくださったご家庭の皆様、ありがとうございました。お礼状にかいてありましたが、「これからもJRC活動を通じて様々なことに興味を持ち、今の自分にできることを考え、実行できる人になりましょ」とおとり、自分だけでなく周りの人・ことを考えられる子供たちになってほしいと考えています。

校訓について知ろう②～進取～

校訓「進取」の意味するところ（校報「篠木」平成6年7月18日号より）

みなさんにわかるようにお話すると、教育目標の「進んで学習をする子供」と同じような意味で考えてください。人に頼まれてではなく、いやいやながらではなく、自分から進んで積極的にことに立ち向かう篠木の子供になってほしいという意味なのです。

進んで働く。進んで学習する。進んで人のために役立つ。進んで発言する。進んで実行する。これが篠木小学校の子供の目指す努力目標です。

「進取とは」と検索すると、「自ら進んで物事に取り組むこと、特にこれまでの慣習にとられず、新しい物事を積極的に行おうとすることを意味します」と出てきます。まさに「創造」です。

力作ぞろいの夏休み作品

28日まで校内で夏休み作品展を行いました。ご覧になってくださった保護者の方もいらっしゃるかと思います。私も、校内をまわりながら、子どもたちの作品を一つひとつ見ました。どれも力作ぞろいで、子どもたちの探究心や創造性に感心しました。いろいろな材料が、子供たちの手によってユニークな作品へと生まれ変わった工作。夏の高校野球各県の代表校、料理に挑戦、身近な材料を使った実験など、興味を持ったことをとことん突き詰めた自由研究。夏休みは、子供たちにとって遊びや休息だけでなく、「自ら考え、創り出す」という貴重な経験を積む時間になったようです。

これらの作品は、保護者の皆様のご支援なしには出来上がらなかったことと思います。温かい励ましや、時には一緒に頭を悩ませてくださったことに心より感謝申し上げます。



キャップハンディ体験

今年も子どもたちは、障がいのある方が直面する課題を理解するため、いくつかの体験学習に挑戦しています。今回の体験学習を通して、障がいについて理解を深めるだけでなく、他者への想像力や、困っている人に自然に手を差し伸べる思いやりの心が育つことを期待します。



2年 ポッチャ



4年 点字